

## J Aバンク補助教材（平成 24 年度版）改訂の主なポイント

### 1 総括

平成 24 年度版については、基本的な構成にかかわるページの全面更新は行わず、最新のデータ・写真などへの差替え、デザインの微調整などを基本に、マイナーチェンジにとどめた。

なお、関連資料として一緒に配布していた「こども農林水産白書」が発行されなくなったことに伴い、参照・引用のあるページなどを変更している。

### 2 主な具体的変更点など

- (1) 表紙（表・裏）：色の変更，写真の入れ替えなど連続性を維持しながらも新年度版であることが一目で判別できるよう変更。
- (2) 震災関係の記載：「放射能・放射線」，「風評被害」などは掲載せず
  - ・ 「高れい農業者を農作業中の事故から守る」を「自然災害から田畑を復旧させる取組み」に変更（37ページ）
  - ・ 39ページ（㊸ところをつなげる）の問の記載変更  
変更前：問 農村には，どのような伝統や文化があるのでしょうか。  
変更後：問 農村に伝わる行事や芸能には，どのような思いや願いがこめられているのでしょうか。
  - ・ コラム「グリーン・ツーリズム」に災害時の助け合いを加筆（40ページ）
- (3) 6・7ページ（㊶わたしたちのくらしと農業のかかわり）：イラストについて，季節を「秋」に統一した内容に変更（※）。問もより仕事（作業）の内容と農業のかかわりを強調するよう変更。  
※ 特別支援教育版との統一性にも配慮している。
- (4) 16・17ページ（㊶米ができるまで）：アイガモ農法のコラムを廃止。「もみから白米になるまで」を「稲から～」に拡張し，稲刈りから白米までの作業内容と実物をイメージできるよう写真も拡大。
- (5) コラムなどでの新たな話題：「棚田とは，どのようなところでしょうか」（19ページ）で世界農業遺産に認定されたこと，「米粉を使って食料自給率を上げる」（31ページ）にパスタを追加。
- (6) その他，解説内容拡充（条件によって変わる農産物のねだん：14ページ），グラフ変更（輸入食料のフードマイレージ：33ページ）など。

以 上